

Forcepoint ONE Data Security

エンタープライズクラスのDLP。すべての主要チャネルで統合され、クラウドから簡単に管理できます。

データセキュリティは複雑な問題ですが、ビジネスを後退させる訳にはいきません。今や従業員はどこでも作業できる時代であり、あらゆる場所でデータを使用する必要があります。Forcepointのアプローチは情報を保護しながら、従業員がどこで働くかを問わず、権限を付与できます。コンプライアンスを簡素化し、データ侵害を最小限に抑え、潜在能力を最大限に引き出します。

Forcepoint ONE Data Securityは、現代の企業向けに設計されたクラウドネイティブなDLPソリューションです。このDLPのSaaSソリューションは、機密情報を保護し、データ侵害を防ぎ、世界中のプライバシー規制への準拠を可能にします。迅速な導入とポリシー管理により、データ保護を合理化し、クラウドアプリケーション、ウェブ、電子メール、エンドポイント全体での統合管理を実現します。Forcepoint Risk-Adaptive Protectionにより、リアルタイムのユーザーリスクインサイト機能を提供します。Forcepoint ONE Data Securityで、コスト削減、リスク削減、生産性の向上をぜひご体験ください。

あらゆるチャネルで強力にEnterprise DLPのデータを識別

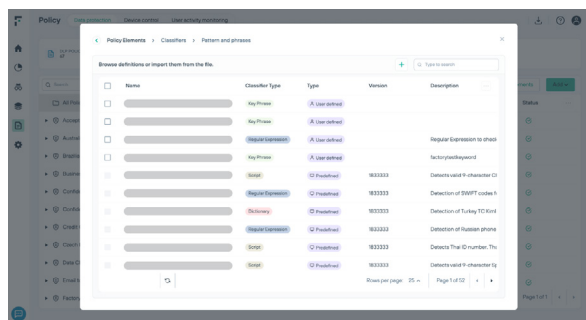
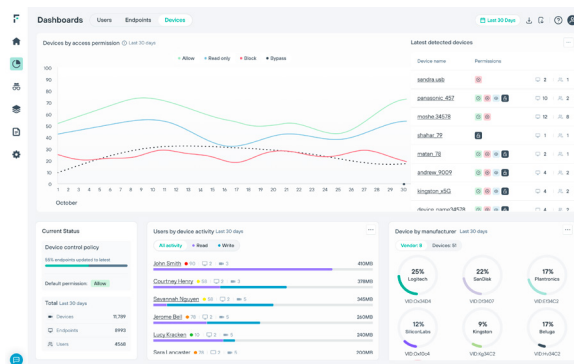
- すぐに使える1,700以上の事前定義された分類子、テンプレート、ポリシー。
- 自然言語処理 (NLP)
- 900種類以上のファイルタイプをカバーする高度な真のファイルタイプ検出。

あらゆる場所で強固に適用

Forcepoint ONE Data Securityは、業界最大のDLP分類子ライブラリの提供ときめ細かなポリシーの適用を行い、クラウドアプリケーション、ウェブ、電子メール、エンドポイント全体で、アップロード、ダウンロード、チャットメッセージ、ファイル共有中のDLPスキャンを徹底させます。

統合管理:「すべてを制御する1つのポリシー」

Forcepoint ONE Data Securityインターフェースから、すべてのForcepoint ONEサービスをシームレスに管理できます。すべてのチャンネル(CASB、SWG、電子メール、エンドポイント)を単一のポリシーで制御し、すべての重要な出口で統一性を確保します。ワンクリックで、新しいポリシーを導入するか、またはすべての主要チャンネルに既存のポリシーを適用します。統一されたダッシュボードからDLPインシデントを容易に監視でき、組織全体のデータセキュリティを包括的に把握します。



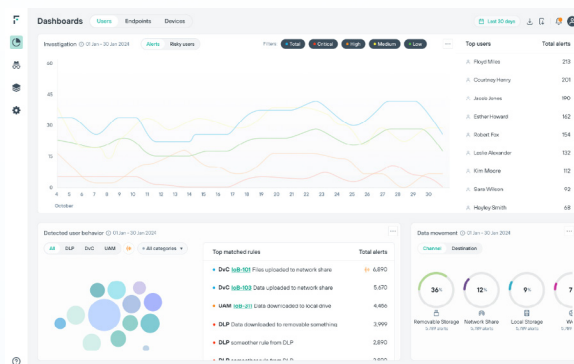
シンプルなポリシー構成

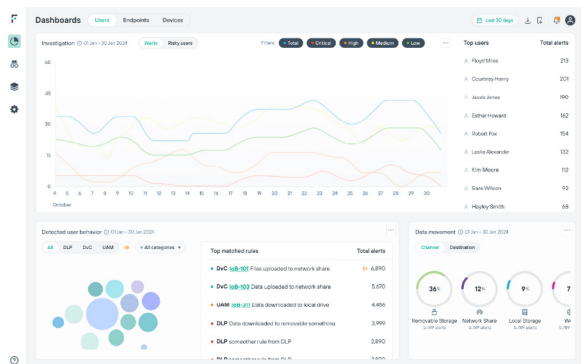
- 事前定義された最新のポリシー、分類子、テンプレートを無線通信でアップデートし、管理を合理化します。
- 数回クリックするだけでポリシーを作成し、数分で導入できます(数時間ではありません!)
- 90か国以上、そして150以上の地域ですぐに使えるコンプライアンスポリシーを取得し、主要なグローバル地域におけるプライバシー規制に確実に準拠します。

インシデントとアラート管理が容易に

レポートダッシュボードを介して、ほぼリアルタイムですべてのインシデントとアラートを完全に把握できます。統合レポートにより、管理者はクラウドアプリケーション、ウェブトラフィック、電子メール、エンドポイントを全体的に把握できます。Native Device Controlは、USBドライブなどのリムーバブルメディアのデータセキュリティとアクセス制御を強化します。Forcepoint ONE Data Securityは、Risk-Adaptive Protectionとシームレスに統合されており、行動とデータのインタラクションに焦点を当てることで、リアルタイムのコンテキストを提供し、ユーザーの意図を理解します。これらはすべて単一のエージェントとUIで管理されます。

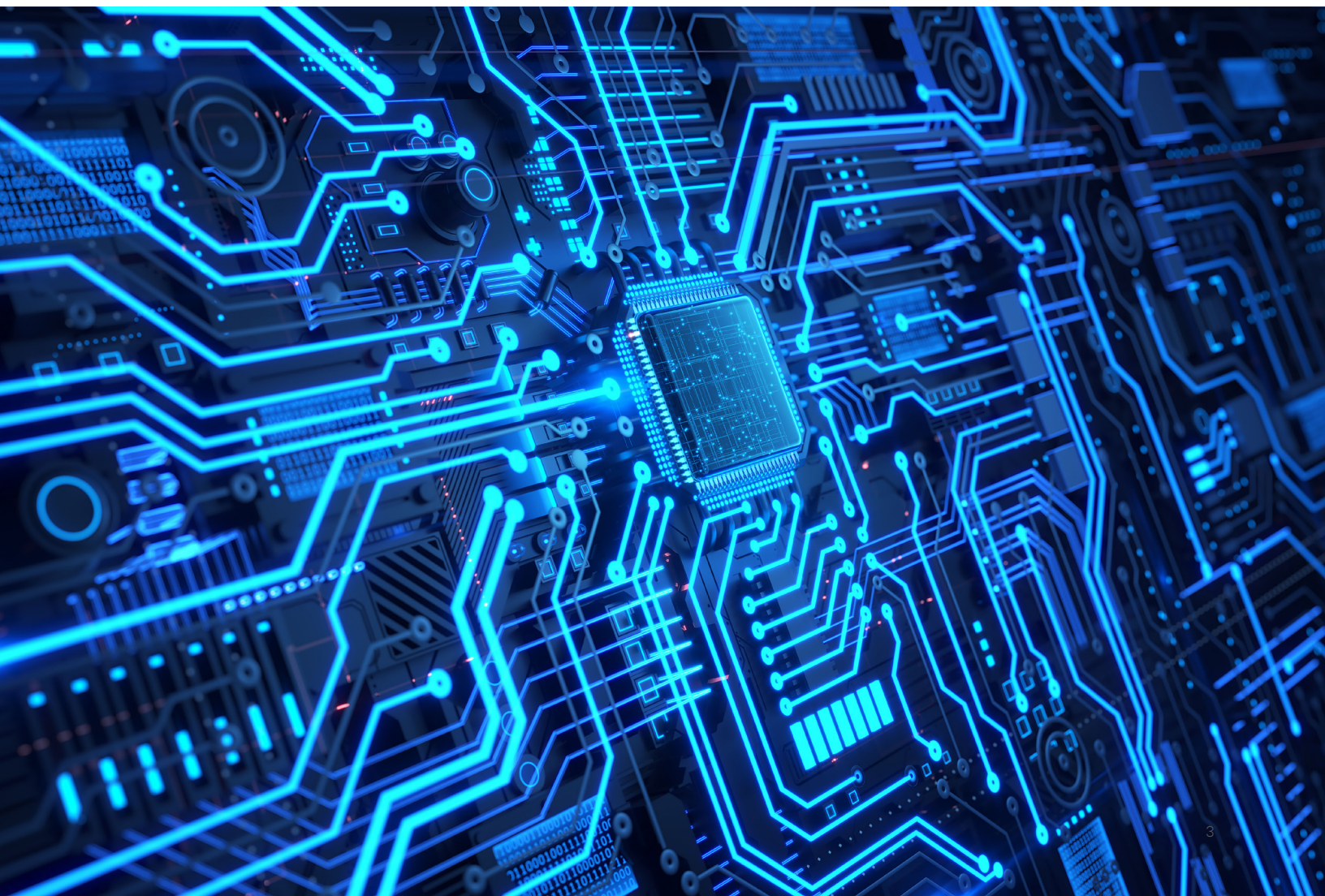
*Risk-Adaptive Protection (リスクスコアを知らせるために必要なエンドポイント)との統合には、独立したSKU (Forcepoint ONE Data Securityのアドオン)が必要です。





クラウドネイティブなSaaSソリューション

- 全体的なコストを削減。
- オンプレミス型のハードウェアとソフトウェアの設定コストがかかりません。
- クラウドネイティブなソリューションは、より大きく、より効率的なスケーラビリティを提供します。
- 新機能、バグ修正、セキュリティパッチの継続的なアップデートによるシンプルなデータセキュリティ管理。
- エンドポイントの自動無線アップデート。
- 99.99%の稼働率、定期的なダウンタイムなしでグローバルにAWS上に展開。
- AWS IoT上に構築され、数十万のエンドポイントに容易に拡張が可能。



Forcepoint ONE Data Securityは、ウェブからエンドポイントや電子メールにいたるまで、すべての主要チャネルのグローバルポリシーを管理する包括的なソリューションを提供します。事前定義されたテンプレート、ポリシー、分類子の広範な配列により、ワークロードを簡素化し、インシデント管理を合理化し、重要なタスクの優先順位付けを可能にします。

機能	メリット
すぐに使える1,700以上の事前定義された分類子、テンプレート、ポリシー	事前構築されたポリシー/テンプレート/分類子により、DLPの初期導入と継続的なポリシー管理を合理化
自然言語処理 (NLP)	300以上の事前定義された自然言語スクリプトを使用し、記述されたコンテンツに基づいて一般的なデータタイプ (PII、PHI、PCI) を比類のない精度で認識
高度な真のファイルタイプ検出	検出を回避するためにファイル名が変更されているかどうかにかかわらず、OCRや画像内のテキストを含む900以上のファイルタイプを識別
CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにわたる統一されたポリシー制御	単一のポリシー内ですべてのチャネルを管理。一度作成すれば、すべての出口チャネルに展開可能
CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにまたがる統合レポート	CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにまたがる統合レポート
90か国以上、そして150以上の地域ですぐに使えるコンプライアンスポリシー	すぐに使えるポリシーにより、世界のすべての主要な地域でプライバシー規制に確実に準拠します。
自動アップデート	事前定義された最新のポリシー、分類子、テンプレートのほとんどを自動的にアップデートし、データセキュリティ管理を簡素化
レポートダッシュボード (クラウドポータル) のアラートにすばやくアクセス	効率的で整理されたダッシュボードから、すべてのインシデントとアラートをほぼリアルタイムで確認できます
統合レポート	統合されたユーザーインターフェイスで、DLP、Device Control、Risk-Adaptive Protectionにまたがるすべてのレポートを確認できます
インシデントの優先順位付け	インシデントインターフェイスで、すぐに対応が必要なトップ10のアクションを表示します。Risk-Adaptive Protectionスコアリングと組み合わせることで、インシデントの数やユーザーリスクの重大度を含めてワークフローに優先順位を付けることができます
OTA (無線通信) によるアップグレード	エージェントのアップデートに関してIT部門とやり取りする必要がなくなり、アップデートを公開する時間が短縮されます
エージェント管理の可視化	エンドポイントの展開状況を可視化し、エージェントの問題をすばやく検出します
エンドポイントでの適用にネットワーク接続は必要ありません	セキュリティ侵害を可視化するために、エンドポイントがネットワークに接続されている必要はありません。ネットワーク接続に関係なく、データは常に保護されます
デバイス制御との統合	リムーバブルメディアのデータセキュリティとアクセス制御をシングルエージェントとUIに拡張
Risk-Adaptive Protectionとの統合	シングルエージェント/UIから、リアルタイムで状況に応じた自動化されたポリシーの適用とインシデント管理を行うには、Risk-Adaptive Protection (Forcepoint ONE Data Securityのアドオン) 用の独立したSKUが必要です
99.99%の稼働率で、定期的なダウンタイムなし	99.99%の稼働率でグローバルにAWS上に展開

forcepoint.com/contact